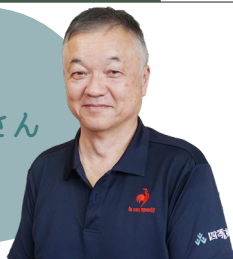


interview

四季の郷デイサービスセンターさま

所長
疋田さん生活相談員
伊東さんケアマネージャー
河野さん

—ゼロプロ導入前のお悩みを教えてください。

我々には「地域 No.1 のデイにしたい」という目標があります。他の通所施設との差別化を図るためにまず、認知症予防の効果が期待できる学習療法を取り入れました。そして、日頃からお客さまのためにちゃんとした口腔ケアを取り入れたいという思いがあり、導入したのがゼロプロです。他のデイサービスで口腔ケアに力を入れているところは、そう多くはありません。欠席の理由として「入院」が多かったため、口腔ケアを通してお客さまに元気になってもらいたいという思いが大きかったですね。

—ゼロプロの導入の決め手は？

主に2点あります。1つ目は、お客さまには欠席理由の1つである「入院」をすることなく、元気に通っていただきたいということにつきます。結果的に稼働率がアップするという点は大きかったですね。2つ目は、ゼロプロにより施設が赤字になることは避けたかったのですが、結果加算を頂けることにより、若干プラスになるという点ですね。ただし加算が増えるということはお客さまの負担が増えてしまうということなので、ケアマネさんやご家族のみなさんへの説明は丁寧に行っています。目的や効果等をきちんとお伝えすることが大切だと感じています。

—実際に導入してみていかがですか？

お客さまの反応はとても良いです。「気持ちがいい」といった声が聞かれます。さらに、職員が成長するツールにもなっていると感じています。口腔ケアをするにあたって、コミュニケーションを取ることは不可欠なためコミュニケーション能力や、細かい部分に気がつくことができる能力も上がっています。この2つは他のケアにも通じる部分があるので、職員にとっても取り入れて良かったという実感があります。職員の負担が増えていない訳ではないので、今後も負担になりすぎないようなバランスで継続していければと思います。

—ゼロプロ導入前のことを教えてください。

デイサービスに通所される方は要介護1～2の方が多く、基本的には歯磨きにはご家族が介入せず、ご自身でされる方が多いです。そのような中で、お口の中に目立つ汚れがあることは気になっておりましたが、なかなか口腔ケアのスキルの統一が難しいという状況がありました。口腔機能向上加算に関する計画書の作成にも難航しているなかで、ゼロプロの導入が決まったんです。

—実際の支援の様子をお聞かせください。

ご家族にはお口の状況が十分に伝わっていない状況だったため、ご家族にご利用者さまのお口の状況をお伝えしたいという思いがありました。誤嚥性肺炎を防ぐこと、在宅生活継続のために全身の機能を維持することが目的であることを説明しました。また、職員に関しては技法統一のために職員会議で口腔ケアをし合うことにより、する側と受ける側の両方の気持ちが変わるようになりました。会議では意見交換もします。これだけの人たちがお口に興味を持ってくれることは、口腔ケア委員会としてのやりがいにもつながりますね。

—ご利用者さまの反応はいかがでしょう？

ご自宅にてご利用者さまご自身でゼロプロ式口腔ケアを実施している、「その歯ブラシはどこで買えるの？」等、口腔ケアへの関心の高まりを感じています。ご利用者さまから「お口に自信を持てている」という声も聞かれるようになりました。デイサービスは入所施設のように1日中関わるわけではなく、行き来する支援になります。その間の「カラオケで声が出るようになったよ」等の報告は、こちらの励みにもなりますし、嬉しいです。

—口腔ケアについてどう捉えていますか？

「おいしく食べる」という当たり前の幸せと、全身の健康を守るための欠かせないケアだと捉えています。誤嚥性肺炎の予防はもちろん重要ですが、それ以上に「口から美味しく食事をとること」は生活の質（QOL）に関係してくると思います。お口の中を清潔に保ち機能を維持することは、体の健康を守り、その人らしい笑顔のある暮らしを支える基盤だと考えています。

—口腔機能向上加算を取り入れる理由は？

限度額のやりくりは常に課題ですが、メリットはあります。加算を取得して「専門的なアプローチ」を入れることで、単なるデイサービスでの取り組みに終わらず、ご本人様・ご家族様の口腔ケアに対する意識が一段と高まります。「ご飯をおいしく食べたい」という当たり前の幸せを長く続けるために、歯科受診や日々のケアに繋がるきっかけを作れるのであれば、ケアプランに組み込む価値は十分にあると思います。結果として誤嚥性肺炎による入院等を防ぎ、長く在宅生活を続けられることに繋がってくると考えます。

—ご家族の反応はいかがでしょう？

1番の成果は、ご利用者様やご家族様の「お口に対する意識」が変わったことです。ご家族でご自宅にてご利用者様のお口をチェックするのはハードルが高いです。しかし、わざわざ歯科に通院するのはハードルが高い。だからこそ、このプロジェクトを通して「デイサービスのスタッフが定期的に口の中を確認する機会」ができること自体に大きな価値があると思います。第三者の目がしっかり入ることでご家族様の安心感にもつながり、ご本人様にとっても慣れた職員が見てくれる安心感を得られ、口腔ケアに慣れることで、結果として歯科受診へのハードルを大幅に下げることができていると感じます。

information

日本初の介護施設 口腔ケア格付け制度
「ゼロプロスターズ (ZERO PRO STARS)」を開始しました



介護施設の口腔ケアの質を、三段階の“星”で評価・公開する格付け制度です。ミシュランガイドのように、誰もが一目で施設の取り組みの水準を理解できます。

★★★ 世界最高レベル
口腔ケアを受けることそのものを目的として入居する価値がある、最高峰の施設。

★★ 高水準予防施設
専門的な予防体制が組織として確立され、安心・安全な生活が約束された施設。

★ 地域優良施設
地域の模範となる優れた口腔ケアを実践し、入居者のQOL 維持に真摯に取り組む施設。

評価は、口腔内の状態、口腔ケア技術の高さ、実施体制の完成度、情報発信の独創性、肺炎入院実績など、複数の観点から総合的に行います。デジタル基盤を活用し、主観ではなくデータに基づいた、透明性の高い評価基準を維持します。

ゼロプロスターズ
公式サイトはこちらから



特別養護老人ホーム他掲載中です！
ご自身の施設を探してみてください

クックデリの公式サイトにて、
誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトを掲載いただきました

Cook Deli

0120-521-525

無料相談はこちら

無料相談はこちら

無料相談はこちら

無料相談はこちら

サービス 導入事例 よくあるご質問 企業情報 採用情報 認定施設ケア・ステーション 会員専用ページ

【取材記事】介護現場の誰もが実践できる
ご利用者の命と施設を守る口腔ケアを推進
～株式会社クロスケアデンタル～

HOME | メディア | お役立ち | 取材記事 | 【取材記事】介護現場の誰もが実践できるご利用者の命と施設を守る口腔ケアを推進～株式会社クロスケア

「高齢者食のセーフティネットを築く」を
ミッションに掲げる、クックデリさまの公
公式サイトにて、ゼロプロに関する記事を掲
載いただきました。

よろしければこちらよりご覧ください→



編集後記

最後まで読んでくださり、ありがとうございます。今回の vol.31 では、3 名の方にお話をお伺いいたしました！デイサービスのケアマネさんにお話を伺う機会はほとんどなかったので、いつもとはちょっと視点の違う内容もお届けできたのではないかと思います！ご協力いただき、ありがとうございました。

2026 年 8 月 川谷

＼check!!／

公式 LINE、instagram、YouTube
にて情報を発信しています。

SNS



株式会社 クロスケアデンタル
編集担当：川谷

お問合せ：092-986-9600

info@crosscare-dental.jp

